



文京ソーシャルイノベーション・ニュース

bunkyo-sip.jp



3 2014 月号

特集

「一年を振り返る」



2013年度の活動を振り返る

・数字で見るこの一年

- ・地域課題の解決に取り組む際のポイント
- ・新たな取組にもチャレンジ!
- ・プロジェクト成長のカギ
- ・2014年度の実施スケジュール

地域課題が複雑かつ多様化する中、行政だけの対応ではニーズを十分満たせないケースもあります。また、区としては踏み込みにくい課題といったものもあります。区では、2013年度より、町内会等による対応など、既存の枠組みを尊重しながらも、「新しい発想」や「新しい手法」で地域課題の解決に取り組む、新たな公共の担い手の創出を中心に進める「新たな公共プロジェクト」を実施してきました。

実施プログラム

対話の場

キックオフイベント
「Yes! で文京の未来を語ろう!」(5/26)

文京ミ・ラ・イ対話
7月「地域課題を知る」、9月「解決策を考える」、
1月「解決策を深める」計9回実施

文京社会起業講座

文京区×東京大学 産学連携本部
ソーシャルイノベーション公開シンポジウム
「社会の変化は、新しい仕事を求めている!」(9/13)

地域活動応援講座

①「ファシリテーション講座」(9/26)
②「参加者が満足し、継続するプロジェクト運営のコツ」(10/10)

文京社会起業アクション・ラーニング 講座
(10/24~2/27 全7回講座)

プロジェクト登録・支援

プロジェクト登録(7月期・10月期)

プロジェクト支援(1クール 4か月の支援)
①「8月~11月期」1プロジェクト
②「12月~3月期」3プロジェクト

一年の総括イベント

文京社会起業フェスタ2014
「Yes! でミ・ラ・イをつくろう!」(2/11)

区職員の意識改革

職員研修(協働推進関係)

PR

特設サイト、SNS等による情報発信および
ニュースレターの発行(5月、8月、12月、3月)

数字で見るこの一年



66.5%

50歳未満の参加者の割合
(年齢不詳の人を除く n=215)

753人

プログラムの延べ参加者数

51.2%

「何か活動をしたい」人の割合
(ソーシャルイノベーション公開
シンポジウムアンケート n=86)

22プロジェクト

今年度、新たに生まれたプロジェクト
(支援プロジェクトを除く)



3プロジェクト

支援継続力向上の支援プロジェクト

131人

文京社会起業フェスタ2014
参加者数



893人

オンラインでの情報提供者数
(メルマガ登録者数+facebook「いいね!」)



351人

区職員延べ参加者数
(プログラム+職員研修)



詳しい情報、活動レポートは特設サイトで! bunkyo-sip.jp

新たな公共プロジェクトの取組を通して 地域課題の解決に取り組む際の 大切なポイントが見えてきました!

2013年4月に始まった新たな公共プロジェクトは、区民の皆様を始め、地域活動の実践者、各分野の専門家など様々な方の協力を得て実現してきました。このような方々と多様な視点を持った事業展開を行ったことにより、地域課題の解決に取り組む際に必要な大切なポイントが見えてきました。

担い手創出プロジェクト支援本部では、 支援プロジェクトの選考や総合的なアドバイスをいただきました!

- ◆既に完成されたものであるなら、支援の必要はない。未完成だが、これからの地域に必要とされることを、長期的な視点から支援することが大切である。
- ◆地域の人たちにとっての意味、取組の成果は何かを定めて取り組むことが必要である。
- ◆単発的なイベントに留まらない新たな価値の創造が大切で、これまで接したことない知見や人などを取りこむことも成功の秘訣の一つである。

担い手創出プロジェクト支援本部

(外部識見者)
 安藤哲也 NPO 法人タイガーマスク基金代表理事
 井上英之 クレアモント大学院大学 ビーター・ドラッカー経営大学院客員研究員
 各務茂夫 東京大学教授 産学連携本部イノベーション推進部長
 菊地端夫 明治大学経営学部公共経営学科准教授
 丁 寧 日中の未来を創る会共同代表 / SVP 東京パートナー (区職員)
 田中芳夫 区民部長
 石嶋大介 区民課長
 境野詩峰 協働推進担当課長

対話の場や講座等のゲストからは、 自らの経験に基づくメッセージをいただきました!

- ◆仲間を作るには、「やりたいことを声に出していくこと」が大切。自分ではできないと思った時は、できないことを周りに伝え、できる人とつながり、最終的には実現につながることもある。
- ◆まず問題意識を持つ人から動き始め、それから、自分から動かない人にも情報が伝わるように工夫をしていく。
- ◆日々の起こる営みを大切に、敏感に耳を傾けていると何かが始まる。
- ◆自分でゼロから全部考えなくてもいい。他の人の取組をヒントに、そこから自分らしい仕事を生み出していてもよい。
- ◆企業からの100万円の寄付を当てにするより、1000円を1000人の人から集める方が、集めやすいし、意味がある。

〔ゲスト〕

石井邦知 きゅぼらスポーツコミュニティ代表
 今村 亮 NPO 法人 NPO カタリバカタリ場事業部事業部長
 影山知明 クルミドコーヒー店主
 斉藤 保 ㈱イータウン代表取締役 (港南台タウンカフェ代表)
 杉本雅明 LAB+CAF'E オーナー
 鈴木信行 みのり Caf'e オーナー
 ナカムラケンタ 日本仕事百貨代表
 長谷川大 NPO 法人街 ing 本郷代表理事
 宮澤由佳 NPO 法人子育て支援センターちびっこはうす理事長
 森田由紀 NPO 法人代官山ひまわり代表理事
 森松徳美 井の頭地域福祉支援センター相談員

起業家の育成・支援に取り組む専門家からは、 多数の起業家と接してきた経験からお話いただきました!

- ◆「起業」まずありきではなく、アイデアを大切に、そこから具体的に始めてみるのが大切である。
- ◆社会課題の解決の取組は短期的な結果がわかりづらい。将来から逆算した具体的なゴールを設定し、その結果を評価することが重要である。
- ◆起業に当たっては、仲間と一緒に取り組み、相乗効果で成長することが大事。「早く行きたければ、一人で行け。遠くに行きたければ仲間と行け。」

〔専門家(育成機関)〕

菅原岳人 東京大学産学連携本部助教
 岡本拓也 NPO 法人 SVP 東京代表理事
 加勢雅善 NPO 法人 ETIC. インキュベーション事業部 / インキュベーション・コーディネーター
 伊藤 健 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教
 鈴木敦子 NPO 法人 ETIC. 事務局長

街づくりの実践者やコーディネーターからは、 新しいプロジェクトの担い手としての心構えのアドバイスをいただきました!

(敬称略、順不同)

- ◆地域の人にとって、自分が何に属しているかというアイデンティティをつくるのが大事な時代になっている。地域住民が自ら地域の暮らしの良さを主体的に確認するプロセスが大切になっている。
- ◆一緒にやるよと言ってくれる仲間の顔が見えていますか?
- ◆どういう人に、このサービスが選ばれて参加していくのか。その人がどういう生活をしていて、どういう切り口で参加してくれるのか。そのストーリーを自分の中で明確に持っていないと活動を広げることができない。
- ◆「小さなホラは嘘になるが、大きなホラは夢になる」大きな具体的なビジョンを描くことが大事。ビジョンさえ描ければ、後はやるだけ。
- ◆アイデアを出すのも大事だが、一番大切でかつ大変なことは「やること」。やらされてやるのではなく、「何のためにやるのか」「一緒にやる」ということが大事。

〔実践者、コーディネーターの専門家〕

船木成記 博報堂ディレクター、尼崎市顧問
 坪田哲司 合同会社次世代創造代表社員 地域・社会共創プロデューサー
 昆布山良則 全国コミュニティカフェ・ネットワーク事務局
 網島信一 大崎周辺まちづくり協議会会長
 齊藤 充 合同会社えんたら代表
 村瀬正尊 ㈱マチツクリラボラトリー代表取締役
 北池智一郎 ㈱タウンキッチン代表取締役
 瀬上周平 ㈱タイヒバン監査役
 新井純子 ヘルシーカフェのら店主

数多くの社会起業家の育成に携わる ETIC. と SVP 東京の経験から アクションラーニング受講生へのアドバイスがありました!

- ◆みなさんとても尊いチャレンジをしている! 結局、一つひとつ、しぶとく続けなければ、その人の強みとなり、心からの願いにつながる道は拓ける。
- ◆自分の思いを伝えることは大事。いろんな人に伝えてブラッシュアップしていけば、多くの人を巻き込める。
- ◆ワクワクできることは大事。それは、可能性が広がっているということなので、そこからまずは少しずつ歩みを進めるべき。

NPO 法人 ETIC. コーディネーターの皆様

野田香織、川口枝里子、関根 純、長谷川奈月、瀬沼希望、渡邊賢太郎

NPO 法人ソーシャルベンチャーパートナーズ東京 (SVP 東京)

・山本龍太郎 SVP 東京理事 / ホワイト&ケース法律事務所弁護士
 ・藤村 隆 SVP 東京事業統括
 ・瀬川将之 SVP 東京パートナー / ㈱ソサイエタル代表取締役

レポート

区民のみなさんと新しいプロジェクトの担い手との出会いの場 「文京社会起業フェスタ2014~Yes!でミ・ラ・イをつくらう!」

2/11(火・祝)に、区民発のプロジェクト&アイデア発表会「文京社会起業フェスタ2014~Yes!でミ・ラ・イをつくらう!」を開催しました。フェスタは、各プロジェクトの仲間を募る場であり、また、地域活動に関心のある人達が区民発のプロジェクトに触れる機会でもあります。また、プログラム前半は横浜市港南台タウンカフェを営む齊藤保さんをゲストに迎え、事業を通じたつながりづくりについて語っていただきました。会場には総勢130名以上の方が集まり、互いの想いを分かち合いながら、熱く、そして温かい議論が交わされました。また、参加者の年齢層も10~70代と幅広く、学生やお子様連れのパパさんなど、多様な方々が参加されました。参加者からは「ぜひプロジェクトのスタッフとして関わりたい!」という熱いオファーをおくる人も現れ、新しい出会いが至る所で生まれていました。尚、当日の様子はCATVでも放映され、youtubeでもご覧いただくことができます。



文の京ウィークリーニュース(2/17~)

<http://www.youtube.com/watch?v=eP1YI-EtbLI>

新たな取組にもチャレンジ!

1 幅広い区民が参加できる仕組みの構築

数少ない特定の卓越した担い手ではなく、一般の区民が主体的に参加できる仕組みをつくることを重視しました。地域活動を実施していくためには、担い手の力だけでは実行できないため、担い手を支える人の存在が必要となってきます。本プロジェクトにおいては、こうした「支える人たちのコミュニティ」の創生にも注力しました。

2 活動の継続力向上に焦点を当てたプログラム

提案されたプロジェクトの実施に着目するのではなく、提案されたプロジェクトが支援終了後も継続的に実施されることに着目し、そのプロジェクトを継続するための基盤づくりや事業実施の基礎体力をつけることに対して支援を行いました。

3 SNS等新たなメディアを活用した広報戦略

人と人のつながりを広げる取組として、特設サイトや、SNS (Facebook、Twitter)、メールマガジンの運営等、多様な広報媒体の特性を活かした広報戦略を行いました。特に、SNSによる情報発信の際は、「人」に着目して、担い手や参加者の状況をリアルタイムで伝えることに苦心し、多くの区民に「自分ごと」と思ってもらえるよう工夫しました。

4 全庁的な取組

区民部への協働推進担当課長ポストの新設を始め、協働推進委員会や担い手創出プロジェクト支援本部の新設により、全庁を挙げた取組とするための体制整備を行いました。また、各プログラムへの職員の参加や協働推進に関する職員研修の充実等により、組織・風土改革にも取り組みました。

プロジェクト成長のカギ ～2013年度のプロジェクト支援を受けて～

文人郷プロジェクト (街ing本郷)



ステーキホルダー・ミーティングや、事務局など第三者からの意見を聞く機会を得られたことで、事業化するためのヒントが多く得られました。今回の支援のような外部刺激があると、より事業化のスピードと発信が増幅されます。

ハッピーファミリープロジェクト (子育てkitchen)



自分たちが何を伝えたいのか、解決できる社会問題は何かなど、「求められているもの」「提供できるもの」「解決課題」「オリジナリティ」などを、それぞれ具体的に考えられるようになり、新たな商品開発などの視野が広がりました。

文京映画交流クラブ (文京映画交流クラブ)



正直、色々な苦労はしましたが、プロジェクトをやりとげようという気持ちで様々な人や企業、団体に話を聞きに行きました。そのことが、自分自身のネットワークづくりにもなり、今後の事業のためにとでも役に立ちました。

2014年度の実施スケジュール(予定)

今年度の取組を踏まえ、来年度も各プログラムを実施します。地域課題の解決に関心ある方、新しいプロジェクトを始めたい方、ぜひご参加ください!

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域活動応援講座		5/11 5/14										
プロジェクト登録・支援			プロジェクト登録	プロジェクト支援審査・選考								
文京ミ・ラ・イ対話					重点テーマ決定							
文京社会起業アクション・ラーニング講座												
(仮称)NPO活動PRフェア			準備会議									
												文京社会起業フェスタ2015

詳細は特設サイトから

「文京ソーシャルイノベーション・プラットフォーム」

bunkyo-sip.jp

Facebook、twitter、メールマガジンにも情報を掲載しています

新たな公共プロジェクト事務局:



文京区

empublic

株式会社エンパブリック

印刷物番号 D0513087

■発行:文京区 新たな公共プロジェクト事務局

■お問い合わせ先:文京区 区民部区民課 協働推進担当

TEL 03-5803-1167 FAX 03-5803-1340

mail b-sip@city.bunkyo.lg.jp